



# 学校だより 12月

横浜市立日吉南小学校

令和5年11月30日

## 出会いとつながり

校長 山中 真紀子

秋から突然冬に変わってしまい寒い日が続いていますが、各学年充実した教育活動が行われています。出前授業、ゲストティーチャーによる授業では、初めて知ることにより目を輝かす子どもの姿が見られます。また、ここでの出会いが子どもたちにとって人生を変える出会いとなるかもしれません。数年ぶりに行われた、幼稚園・保育園児との交流会では、学校では未っ子の1年生がとてもしょく見えまし。「立場が人を成長させる」とはよく言ったものです。学校だけでなく家庭や地域で様々な体験と経験を重ね、成長してほしいです。

### 人権週間

人権とは「人が生まれながらにして持っている幸せになる権利」のことです。人は産まれた時から平等に人らしく生きて、幸せになる権利をもっています。ここで大事なことは、自分だけではなく他の人も当然持っている「権利」であり、侵害したり脅かしてはいけないということです。

朝会で子どもたちに、講演会で聞いた相田みつをさんの詩「セトモノ」を紹介しました。

『お互いが硬いままぶつかり合えばどちらも壊れてしまいます。どちらか一方でも柔らかければ、どちらも壊れることはありません。これを皆さんの生活の場に置き換えてみるとどうでしょう。どちらも自分中心に行動して、けんかやもめごとになったりすることはありませんか。とは言っても、なかなか自分から柔らかくなることは簡単ではありません。相田さんも「そういうわたしは いつもセトモノ」と言っています。どちらかが、相手を思いやる柔らかい心をもつことができれば、つまらないいざこぎもなくなるでしょう。皆さんには、柔らかい心をもてる人になってほしいというのが願いです。』

日吉南小学校が居心地のよい学校となるよう、子どもたちとともに引き続き取り組んでまいります。

### 『セトモノ』

セトモノとセトモノと

ぶつかりっこすると

すぐこわれちゃう

どっちかやわらかければ

だいじょうぶ

やわらかいところをもちましよう。

そういうわたしはいつもセトモノ。 相田みつを

### 学校運営協議会 日吉南小学校分科会

11月25日(土)に学校運営協議会 日吉南小学校分科会を行いました。授業参観をしていただいた後の懇談会では、子どもたちの様子や参観された方が過ごしてきた学校とは様子が違ってきていることが話題となりました。地域での子どもたちの様子の話では、地域行事の持ち方と参加者について話が出ました。地域も様々な工夫や考えの転換をされていることがわかり、学校も同じだと感じました。また、「子どもだけでなく、家庭を巻き込み参加できるといい。」「地域も学校も保護者の方が一緒に盛り上げてくれるとありがたいね。」と意見交流をしました。「働き方改革とは逆行しているのかもしれないが、先生方が地域行事に参加してくれてありがたい。」との声をいただきました。働き方改革をしながらも、大切にしたいものは守り抜きたいと思っている教職員の思いが伝わっていることをうれしく思いました。

各学年、12月から2月には生活科・総合の時間の授業参観・発表会が予定されています。相手意識の伴った学習や活動はより子どもたちを成長させます。保護者や地域の皆様とのつながりを大切に、子どもたちも学校も力を合わせて前進していきたいと考えております。早いもので今年もあと一か月となってしまいました。この1年の感謝とともに、新しい年も幸多き年となりますようお祈り申し上げます。